

Suzuka-EMS（鈴鹿市環境マネジメントシステム）
環境活動報告シート（令和6年度）

※原則、小数点第2位まで入力

凡例

- ：当初提出時に入力する箇所
- ：下半期提出時に入力する箇所
- ：必要に応じて適時入力する箇所

※該当のない項目には「該当なし」を入力または選択

I 職場研修の実施

- ・指定管理者や業務委託事業者等を除く全職員 ※パソコンが一人1台ない所属は、回覧等で対応してください。

| | | |
|----|----|----------------------------|
| 実施 | 実施 | セルフチェックシートの所属結果が自動で表示されます。 |
|----|----|----------------------------|

II 施設及び設備等の点検

- ・「法律」「条例」等に関係する事業活動、施設及び設備等の点検状況を入力してください。
- ・機器等の新規購入や廃棄を行った場合は、「変更点」に入力してください。

| | | | | | | | |
|---|--|---------------------------|-------------|---------|---|-------|--------------------|
| 1 | | | | | | | |
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動、設備等 | 規模、能力等 | | | | |
| フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）第16条により規定される第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項 | 以下の事項を定めた国が定める「第一種特定製品の管理者の判断の基準」の遵守を通じて、使用時におけるフロン類の漏えい防止に取り組むことが必要。 ●管理する第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全 ●簡易点検・定期点検 ●漏えいや故障等が確認された場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止 ●点検・整備の記録作成・保存 2. 一定量以上フロン類を漏えいさせた者は、算定漏えい量等を国に報告することが求められる。また、国はその算定漏えい量等を公表する。（国への報告は環境政策課） 3. 機器にフロン類を充填又は回収する必要がある場合、整備者は充填又は回収を「第一種フロン類充填回収業者」に委託しなければならない。第一種特定製品の管理者は、整備者に対して、整備発注時に管理者名を確実に伝達する必要がある。 4. 機器の廃棄等を実施する者は、フロン類を「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡すか、フロン類の引き渡しを設備業者等に委託し「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡す必要がある。また、その際、行程管理制度に従って、回収依頼書の交付等が必要。 | 空調機器（業務用・第一種特定製品） | 11台 労働福祉会館 | | | | |
| 上半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | 下半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | | | | |
| 4月～6月 点検実施日 | 7月～9月 点検実施日 | 10月～12月 点検実施日 | 1月～3月 点検実施日 | | | | |
| 6月4日 | 8月6日 | 11月26日 | 1月20日 | | | | |
| ↓ 点検（整備）記録簿への記載を済ませたら○を選択 ↓ ※機器を廃棄した後3年間は紙又は電磁的記録によって保存する必要あり。 | | | | | | | |
| 4月～6月 | ○ | 7月～9月 | ○ | 10月～12月 | ○ | 1月～3月 | ○ |
| 定期点検の実施（下記の機器を保有する所属のみ対象。） ※簡易点検に上乗せして実施するもの | | | | | | 対象台数 | 定期点検 （今年度の実施有無） |
| ■冷凍冷蔵機器【7.5kW以上】・・・1年に1回以上 ■空調機器 【7.5kW以上～50kW未満】・・・3年に1回以上／【50kW以上】・・・1年に1回以上 | | | | | | 該当なし | 該当なし |
| 算定漏えい量・充填量（冷媒の充填を行った場合は「充填量」及び「冷媒の種類」を入力。充填がない場合は「充填なし」と入力。） ※3月に入力 | | | | | | 充填なし | |
| ※機器整備等で都道府県知事の登録を受けた充填回収業者より発行された「冷媒充填証明書」を基に点検記録された年間合計充填量 | | | | | | | |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 遵守 | 変更点 | | | | |

| 2 | | | |
|---|---|----------|--------------|
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動，設備等 | 規模，能力等 |
| 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法） 第6条 | 事業者及び消費者は、特定家庭用機器をなるべく長期間使用することにより、特定家庭用機器廃棄物の排出を抑制するよう努めるとともに、特定家庭用機器廃棄物を排出する場合にあっては、当該特定家庭用機器廃棄物の再商品化等が確実に実施されるよう、特定家庭用機器廃棄物の収集若しくは運搬をする者又は再商品化等をする者に適切に引き渡し、その求めに応じ料金の支払に応じることにより、これらの者がこの法律の目的を達成するために行う措置に協力しなければならない。 【特定家庭用機器】 ユニット形エアコンディショナー（ウィンド形エアコンディショナー又は室内ユニットが壁掛け形若しくは床置き形であるセパレート形エアコンディショナーに限る。）、テレビジョン受信機（ブラウン管式、液晶式（電源として一次電池又は蓄電池を使用しないものに限り、建築物に組み込むことができるように設計したものを除く。）、プラズマ式）、電気冷蔵庫及び電気冷凍庫、電気洗濯機・衣類乾燥機 | 冷蔵庫 | 1台 リフレッシュルーム |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 遵守 | 変更点 |

Ⅲ 緊急事態対応訓練の実施

- ・ 該当所属のみ入力
- ・ Suzuka-EMSに基づく訓練に関して入力してください（ネットフォルダ 12Suzuka-EMS内掲載の「緊急事態対応手順書」参照）。
- ・ 対象所属が、年度内に緊急事態対応訓練手順書を基に訓練を実施し、その実施内容を入力してください。
- ・ 訓練実施時の写真をデータで残して頂くをお願いします（プルダウンで選択回答）。

| 実施予定日 | | |
|-------|------------|-----|
| 実施人数 | | 実施日 |
| 名 | 訓練内容 | |
| | 実施時の写真撮影有無 | |

Ⅳ 環境目標の実施状況及び目標に対する状況点検

- ・ 環境目標1～5は、「セルフチェックシート」（別シート）に各職員が評価や数値を入力すると、各目標の「環境目標○に対する所属の結果」が自動で表示されます。

| 【環境目標 1】 |
|--|
| 節電のため、昼休みは業務に差し支えない範囲で消灯，未使用時の会議室や書庫の消灯，階段，廊下等の必要最小限点灯 |
| 【R6年度】 環境目標 1 に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| 【環境目標 2】 |
|---|
| 省エネ・節電のため、冷暖房の室内温度基準・運転期間・時間の遵守，経済運転の励行，長時間の離席時にパソコン・ディスプレイの電源を切る |
| 【R6年度】 環境目標2に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| 【環境目標 3】 |
|---|
| 森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため両面印刷やNアップ印刷を活用し印刷ミスを減らすためプレビュー確認を徹底する |
| 【R6年度】 環境目標3に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| 【環境目標 4】 |
|---|
| 4 R活動の励行，発生した廃棄物の分別の徹底 |
| ※4R = Reduce:ごみを減らす，Reuse:繰り返し使う，Recycle：再生利用する，Refuse：不要な物は、いりませんと断る |
| 【R6年度】 環境目標4に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 5】 |
| 自動車の経済運転・駐停車時のアイドリングストップの徹底，出張時の公共交通機関の利用，近隣移動時の徒歩・自転車の使用 |
| 【R6年度】環境目標5に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます↓ |
| 徹底している |

| | | | |
|--|--------------------|------|--|
| 【環境目標 6】 | | | |
| 森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため電子決裁を推進する | | | |
| 【基準値】全決裁に占める電子決裁の割合（小数点第2位を四捨五入） 1%未満:「より一層の努力が必要」 1%以上24.9%未満:「もう少し努力できる」 24.9%以上:「徹底されている」 ※24.9%：令和5年度の電子決裁数（起案・供覧）を全決裁数（起案・供覧）で除した数値 = 市の電子決裁平均値 | | | |
| | 年間の電子決裁数を入力→ | 317 | 【R6年度】環境目標6に対する所属の結果 24.0% もう少し努力できる |
| | 年間の電子決裁を含む全決裁数を入力→ | 1321 | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 【環境目標 7】 | | | |
| 環境配慮物品の購入推進のためにグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）の割合を高める | | | |
| ※ 予算配当がない・物品を購入していない場合は「0」を入力してください。 | | | |
| ※ 対象とする購入は財務会計システムの単価契約物品です。 購入の個数に関係なく，1回の購入を1件とします。 （例：A社で法適合商品複数個と，適合でない商品複数個を購入⇒法適合商品購入1件と数える） | | | |
| 【基準値】全物品購入件数に占めるグリーン購入の割合（小数点第2位を四捨五入） 空白:「物品購入が無い」 0.0%以上64.2%未満:「もう少し努力できる」 64.2%以上:「徹底されている」 ※64.2%：令和5年度のグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を全購入数で除した数値 = 市のグリーン購入の平均値 | | | |
| 単価契約物品一覧表の「エコ」「グリーン」「GPN」と入っている物品が一つでも入っている「支出負担行為（単契物品）」の枚数 | R6年度にグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を含む物品を購入した件数→ | 5 | 【R6年度】環境目標7に対する所属の結果 71.4% 徹底されている |
| | R6年度に購入した件数→ | 7 | |

・該当所属のみ入力

| | | |
|-------------------------------------|---|--|
| 【環境目標 8】 | | |
| 環境負荷を低減するため公共工事設計時の「環境配慮チェック表」を作成する | | |
| R6年度作成枚数 → | 0 | 【R6年度】環境目標8に対する所属の結果 ↓件数を入力すると自動でコメントが表示されます↓ |
| 作成なし | | |

Ⅵ 外部に向けて発信できる各所属で独自に取り組む環境目標及び実施状況

・各所属の事務事業内容を考慮した環境目標を設定し，その実施状況や改善点を入力してください。

| |
|--|
| 【令和6年度】各所属で取り組む環境目標 |
| 環境に関する市民の関心を高めるために，エアコンなどの節電を促す表示をする。（ものづくり産業支援センター会議室・労働福祉会館） |
| 【↓ 今年度の実施状況や次年度への改善点を必ず入力 ↓】 |
| 本年度の目標については，徹底して出来た。今後も自課の取組みを外部に向けて発信する |

Ⅶ 鈴鹿市しあわせ環境基本計画に即した環境施策の推進状況

・該当所属のみ入力

| | | | | | |
|-------------------------------|------|------------|--------------------------------|-----|--|
| 【環境基本計画 1】 | | | | | |
| 基本目標 | | 基本方針 | | 施策 | |
| | | | | | |
| 実施施策 | | 実施施策 詳細 | | 担当G | |
| 年間計画（P） （当初入力） | 該当なし | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | | |

Ⅷ 環境管理責任推進員による評価

・環境管理責任推進員による総合評価欄は、各項目の入力内容に応じ、自動で表示されます。

| | | | |
|------------------|---------|------------------|----------------------------|
| 【R6年度】 | | | |
| 環境管理責任推進員による総合評価 | | | |
| 法の遵守状況（Ⅱ） | 非常訓練（Ⅲ） | 所属の目標設定及び実施結果（Ⅵ） | 環境基本計画に即した環境施策の推進結果 （Ⅶ） |
| ①遵守 | 該当なし | ①実施済 | 該当なし |

・上記「法の遵守状況」や「非常訓練」が②の場合、来年度に向けた是正措置を入力してください。

| |
|--|
| |
|--|

Suzuka-EMS（鈴鹿市環境マネジメントシステム）
環境活動報告シート（令和6年度）

※原則、小数点第2位まで入力

凡例

- ：当初提出時に入力する箇所
- ：下半期提出時に入力する箇所
- ：必要に応じて適時入力する箇所

※該当のない項目には「該当なし」を入力または選択

| | | |
|------------|--------|-----------|
| 所属（課等） | | 商業観光政策課 |
| 連絡先（内線・外線） | | 3624 |
| 環境管理責任推進員 | | **** |
| 環境管理推進員 | | **** |
| 提出日 | 当初提出日 | 令和6年7月26日 |
| | 下半期提出日 | 令和7年4月18日 |

I 職場研修の実施

- 指定管理者や業務委託事業者等を除く全職員 ※パソコンが一人1台ない所属は、回覧等で対応してください。

| | | |
|----|----|----------------------------|
| 実施 | 実施 | セルフチェックシートの所属結果が自動で表示されます。 |
|----|----|----------------------------|

II 施設及び設備等の点検

- 「法律」「条例」等に関係する事業活動、施設及び設備等の点検状況を入力してください。
- 機器等の新規購入や廃棄を行った場合は、「変更点」に入力してください。

| | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|-------|---------------------------|---|-------------|--|---------------------|-------|--------------------|---|
| 1 | | | | | | | | | | | |
| 適用法令等 | | 遵守事項 | | 該当活動、設備等 | | 規模、能力等 | | | | | |
| フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）第16条により規定される第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項 | | 以下の事項を定めた国が定める「第一種特定製品の管理者の判断の基準」の遵守を通じて、使用時におけるフロン類の漏えい防止に取り組むことが必要。 ●管理する第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全 ●簡易点検・定期点検 ●漏えいや故障等が確認された場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止 ●点検・整備の記録作成・保存 2. 一定量以上フロン類を漏えいさせた者は、算定漏えい量等を国に報告することが求められる。また、国はその算定漏えい量等を公表する。（国への報告は環境政策課） 3. 機器にフロン類を充填又は回収する必要がある場合、整備者は充填又は回収を「第一種フロン類充填回収業者」に委託しなければならない。第一種特定製品の管理者は、整備者に対して、整備発注時に管理者名を確実に伝達する必要がある。 4. 機器の廃棄等を実施する者は、フロン類を「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡すか、フロン類の引き渡しを設備業者等に委託し「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡す必要がある。また、その際、行程管理制度に従って、回収依頼書の交付等が必要。 | | 空調機器 （業務用 第一種特定製品） | | 5台 伝統産業会館 | | | | | |
| 上半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | | | 下半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | | | | | | |
| 4月～6月 点検実施日 | | 7月～9月 点検実施日 | | 10月～12月 点検実施日 | | 1月～3月 点検実施日 | | | | | |
| 6月20日 | | 9月19日 | | 12月19日 | | 3月20日 | | | | | |
| ↓ 点検（整備）記録簿への記載を済ませたら○を選択 ↓ ※機器を廃棄した後3年間は紙又は電磁的記録によって保存する必要あり。 | | | | | | | | | | | |
| 4月～6月 | | ○ | 7月～9月 | | ○ | 10月～12月 | | ○ | 1月～3月 | | ○ |
| 定期点検の実施（下記の機器を保有する所属のみ対象。） ※簡易点検に上乗せして実施するもの ■冷凍冷蔵機器【7.5kW以上】・・・1年に1回以上 ■空調機器 【7.5kW以上～50kW未満】・・・3年に1回以上／【50kW以上】・・・1年に1回以上 | | | | | | | | 対象台数 | | 定期点検 （今年度の実施有無） | |
| | | | | | | | | 2台 （12.8～21.4kw） | | 実施しなかった | |
| 算定漏えい量・充填量（冷媒の充填を行った場合は「充填量」及び「冷媒の種類」を入力。充填がない場合は「充填なし」と入力。） ※3月に入力 | | | | | | | | 充填なし | | | |
| ※機器整備等で都道府県知事の登録を受けた充填回収業者より発行された「冷媒充填証明書」を基に点検記録された年間合計充填量 | | | | | | | | | | | |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | | | 遵守 | | 変更点 | | | | | |

| 2 | | | |
|---|---|-----------|-------------|
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動、設備等 | 規模、能力等 |
| 特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法） 第6条 | 事業者及び消費者は、特定家庭用機器をなるべく長期間使用することにより、特定家庭用機器廃棄物の排出を抑制するよう努めるとともに、特定家庭用機器廃棄物を排出する場合にあっては、当該特定家庭用機器廃棄物の再商品化等が確実に実施されるよう、特定家庭用機器廃棄物の収集若しくは運搬をする者又は再商品化等をする者に適切に引き渡し、その求めに応じ料金の支払に応じることにより、これらの者がこの法律の目的を達成するために行う措置に協力しなければならない。 【特定家庭用機器】 ユニット形エアコンディショナー（ウィンド形エアコンディショナー又は室内ユニットが壁掛け形若しくは床置き形であるセパレート形エアコンディショナーに限る。）、テレビジョン受信機（ブラウン管式、液晶式（電源として一次電池又は蓄電池を使用しないものに限り、建築物に組み込むことができるように設計したものを除く。）、プラズマ式）、電気冷蔵庫及び電気冷凍庫、電気洗濯機・衣類乾燥機 | 空調機器（家庭用） | 1台 鼓ヶ浦観光案内所 |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 遵守 | 変更点 |

| 3 | | | |
|---|---|-----------------|--------|
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動、設備等 | 規模、能力等 |
| 鈴鹿市公共下水道条例第16条 | 使用者が公共下水道の使用を開始し、休止し、若しくは廃止し、又は現に休止しているその使用を再開しようとするときは、当該使用者は、あらかじめ、その旨を市長に届け出なければならない。届け出た事項を変更しようとするときも、同様とする。 | 下水道排水設備（伝統産業会館） | — |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 評価事象なし | 変更点 |

Ⅲ 緊急事態対応訓練の実施

- ・該当所属のみ入力
- ・Suzuka-EMSに基づく訓練に関して入力してください（ネットフォルダ 12Suzuka-EMS内掲載の「緊急事態対応手順書」参照）。
- ・対象所属が、年度内に緊急事態対応訓練手順書を基に訓練を実施し、その実施内容を入力してください。
- ・訓練実施時の写真をデータで残して頂くようお願いいたします（プルダウンで選択回答）。

| 実施予定日 | | |
|-------|---|------------|
| 実施人数 | | 実施日 |
| | 名 | 訓練内容 |
| | | 実施時の写真撮影有無 |

Ⅳ 環境目標の実施状況及び目標に対する状況点検

- ・環境目標1～5は、「セルフチェックシート」（別シート）に各職員が評価や数値を入力すると、各目標の「環境目標○に対する所属の結果」が自動で表示されます。

| 【環境目標 1】 |
|--|
| 節電のため、昼休みは業務に差し支えない範囲で消灯，未使用時の会議室や書庫の消灯，階段，廊下等の必要最小限点灯 |
| 【R6年度】 環境目標 1 に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| 【環境目標 2】 |
|---|
| 省エネ・節電のため、冷暖房の室内温度基準・運転期間・時間の遵守，経済運転の励行，長時間の離席時にパソコン・ディスプレイの電源を切る |
| 【R6年度】 環境目標2に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| 【環境目標 3】 |
|---|
| 森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため両面印刷やNアップ印刷を活用し印刷ミスを減らすためプレビュー確認を徹底する |
| 【R6年度】 環境目標3に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 4】 |
| 4 R活動の励行，発生した廃棄物の分別の徹底 |
| ※4R = Reduce:ごみを減らす，Reuse:繰り返し使う，Recycle：再生利用する，Refuse：不要な物は、いりませんと断る |
| 【R6年度】 環境目標4に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 5】 |
| 自動車の経済運転・駐停車時のアイドリングストップの徹底，出張時の公共交通機関の利用，近隣移動時の徒歩・自転車の使用 |
| 【R6年度】 環境目標5に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| | | | |
|---|---------------------|------|---|
| 【環境目標 6】 | | | |
| 森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため電子決裁を推進する | | | |
| 【基準値】 全決裁に占める電子決裁の割合（小数点第2位を四捨五入） 1%未満:「より一層の努力が必要」 1%以上24.9%未満:「もう少し努力できる」 24.9%以上:「徹底されている」 ※24.9%：令和5年度の電子決裁数（起案・供覧）を全決裁数（起案・供覧）で除した数値 = 市の電子決裁平均値 | | | |
| | 年間の電子決裁数を入力 → | 426 | 【R6年度】 環境目標6に対する所属の結果 27.6% 徹底されている |
| | 年間の電子決裁を含む全決裁数を入力 → | 1545 | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 【環境目標 7】 | | | |
| 環境配慮物品の購入推進のためにグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）の割合を高める | | | |
| ※ 予算配当がない・物品を購入していない場合は「0」を入力してください。 | | | |
| ※ 対象とする購入は財務会計システムの単価契約物品です。 購入の個数に関係なく，1回の購入を1件とします。 （例：A社で法適合商品複数個と，適合でない商品複数個を購入⇒法適合商品購入1件と数える） | | | |
| 【基準値】 全物品購入件数に占めるグリーン購入の割合（小数点第2位を四捨五入） 空白:「物品購入が無い」 0.0%以上64.2%未満:「もう少し努力できる」 64.2%以上:「徹底されている」 ※64.2%：令和5年度のグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を全購入数で除した数値 = 市のグリーン購入の平均値 | | | |
| 単価契約物品一覧表の「エコ」「グリーン」「GPN」と入っている物品が一つでも入っている「支出負担行為（単契物品）」の枚数 | R6年度にグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を含む物品を購入した件数→ | 6 | 【R6年度】 環境目標7に対する所属の結果 100.0% 徹底されている |
| 「支出負担行為（単契物品）」の枚数 | R6年度に購入した件数→ | 6 | |

・該当所属のみ入力

| | | |
|-------------------------------------|---|--|
| 【環境目標 8】 | | |
| 環境負荷を低減するため公共工事設計時の「環境配慮チェック表」を作成する | | |
| R6年度作成枚数 → | 0 | 【R6年度】 環境目標8に対する所属の結果 ↓件数を入力すると自動でコメントが表示されます ↓ |
| | | 作成なし |

Ⅵ 外部に向けて発信できる各所属で独自に取り組む環境目標及び実施状況

・各所属の事務事業内容を考慮した環境目標を設定し，その実施状況や改善点を入力してください。

| |
|---|
| 【令和6年度】 各所属で取り組む環境目標 |
| 環境問題に対する関心を高めるとともに鈴鹿市の温暖化防止の取組をPRするため、メール送信時や文書発送時に可能な限り署名欄や空白等を利用して、「鈴鹿エコモーション6」を掲載する。 |
| 【↓ 今年度の実施状況や次年度への改善点を必ず入力 ↓】 |
| メールを送信する際に使用する署名のフォーマットに「鈴鹿エコモーション6」をあらかじめ入力し使用するようにした。 |

Ⅶ 鈴鹿市しあわせ環境基本計画に即した環境施策の推進状況

・該当所属のみ入力

| 【環境基本計画 1】 | | | | | |
|-------------------------------|--|------------|--------------------------------|---------------|----------------|
| 基本目標 | | 基本方針 | | 施策 | |
| 自然と共生する社会の構築 | | 自然環境の保全 | | 森林・海岸・水辺環境の保全 | |
| 実施施策 | 自然公園等におけるマナー向上の促進 | 実施施策 詳細 | ①海浜観光施設維持管理 ②鈴鹿山溪施設維持管理 | 担当G | 観光・モータースポーツ振興G |
| 年間計画（P） （当初入力） | ・海浜観光施設の維持管理（整備・点検・清掃など）主に夏季 ・鈴鹿山溪の観光資源の維持管理（整備・点検・清掃など）主に夏季 | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | ・鼓ヶ浦・千代崎両海浜を利用する方々に向けて自然公園等におけるマナー向上の促進に向けた、注意喚起等を行った。 ・山溪においては、鈴鹿警察、消防署、鈴鹿市職員山岳救助隊が合同で「令和6年度鈴鹿山溪登山道危険箇所点検」として、登山ルート上に案内看板設置、危険箇所の点検や倒木の除去などを行い、山溪全体の自然環境の整備保全に努めた。 | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | 整備、点検、清掃を行い、維持管理を実施できた。 | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | ・危険箇所の点検や、生態系の保護など緊急を要するものについては、今後も迅速な対応を心がけていく。 ・自然保護の観点を重視し、来訪者のマナー向上にむけて啓発活動に取り組む。 | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | ①目標の達成及び、実現のための施策を着実に前進させており、点検結果においても継続的な改善に努めている | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | | ①事業の継続 |

| 【環境基本計画 2】 | | | | | |
|-------------------------------|---|------------|---------------------------------------|---------|----------------|
| 基本目標 | | 基本方針 | | 施策 | |
| 環境教育・学習の充実 | | 協働による取組み | | 人材育成と確保 | |
| 実施施策 | まつりの継承と地域づくりの交流の促進 | 実施施策 詳細 | ①すずかフェスティバル等イベント開催の支援 ②地域伝統芸能の活動支援 | 担当G | 観光・モータースポーツ振興G |
| 年間計画（P） （当初入力） | ・実行委員会に協力イベントのPRや案内 ・各地域で開催される祭り・イベント等のPRや案内 | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | ・すずかフェスティバルは駐車場確保等の協力を行った。 | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | 概ね計画通りに実施できた | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | ・それぞれの祭りやイベントがより多くの市民に認知され、市民と来訪者がともに楽しむことができるような環境づくりに努める。 ・地域の伝統芸能の保存や後継者育成・PRなど、関係機関と連携しながら取り組んでいく。 | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | ①目標の達成及び、実現のための施策を着実に前進させており、点検結果においても継続的な改善に努めている | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | | ①事業の継続 |

Ⅷ 環境管理責任推進員による評価

・環境管理責任推進員による総合評価欄は、各項目の入力内容に応じ、自動で表示されます。

| 【R6年度】 | | | |
|------------------|---------|------------------|------------------------|
| 環境管理責任推進員による総合評価 | | | |
| 法の遵守状況（Ⅱ） | 非常訓練（Ⅲ） | 所属の目標設定及び実施結果（Ⅵ） | 環境基本計画に即した環境施策の推進結果（Ⅶ） |
| ①遵守 | 該当なし | ①実施済 | ○ |

・上記「法の遵守状況」や「非常訓練」が②の場合、来年度に向けた是正措置を入力してください。

Suzuka-EMS（鈴鹿市環境マネジメントシステム）
環境活動報告シート（令和6年度）

※原則、小数点第2位まで入力

凡例

- ：当初提出時に入力する箇所
- ：下半期提出時に入力する箇所
- ：必要に応じて適時入力する箇所

※該当のない項目には「該当なし」を入力または選択

I 職場研修の実施

- ・指定管理者や業務委託事業者等を除く全職員 ※パソコンが一人1台ない所属は、回覧等で対応してください。

| | | |
|----|----|----------------------------|
| 実施 | 実施 | セルフチェックシートの所属結果が自動で表示されます。 |
|----|----|----------------------------|

II 施設及び設備等の点検

- ・「法律」「条例」等に関係する事業活動、施設及び設備等の点検状況を入力してください。
- ・機器等の新規購入や廃棄を行った場合は、「変更点」に入力してください。

| | | | | | | | |
|---|--|---------------------------|--|---------|---|-------|--------------------|
| 1 | | | | | | | |
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動、設備等 | 規模、能力等 | | | | |
| フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）第16条により規定される第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項 | 以下の事項を定めた国が定める「第一種特定製品の管理者の判断の基準」の遵守を通じて、使用時におけるフロン類の漏えい防止に取り組むことが必要。 ●管理する第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全 ●簡易点検・定期点検 ●漏えいや故障等が確認された場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止 ●点検・整備の記録作成・保存 2. 一定量以上フロン類を漏えいさせた者は、算定漏えい量等を国に報告することが求められる。また、国はその算定漏えい量等を公表する。（国への報告は環境政策課） 3. 機器にフロン類を充填又は回収する必要がある場合、整備者は充填又は回収を「第一種フロン類充填回収業者」に委託しなければならない。第一種特定製品の管理者は、整備者に対して、整備発注時に管理者名を確実に伝達する必要がある。 4. 機器の廃棄等を実施する者は、フロン類を「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡すか、フロン類の引き渡しを設備業者等に委託し「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡す必要がある。また、その際、行程管理制度に従って、回収依頼書の交付等が必要。 | 空調機器（業務用・第一種特定製品） | 7台 農村環境改善センター 東芝パッケージエアコン、ナショナルエアコン、ダイキン、東芝ルームエアコン ディショナ | | | | |
| 上半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | 下半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | | | | |
| 4月～6月 点検実施日 | 7月～9月 点検実施日 | 10月～12月 点検実施日 | 1月～3月 点検実施日 | | | | |
| 4月1日 | 7月12日 | 10月29日 | 1月24日 | | | | |
| ↓ 点検（整備）記録簿への記載を済ませたら○を選択 ↓ ※機器を廃棄した後3年間は紙又は電磁的記録によって保存する必要あり。 | | | | | | | |
| 4月～6月 | ○ | 7月～9月 | ○ | 10月～12月 | ○ | 1月～3月 | ○ |
| 定期点検の実施（下記の機器を保有する所属のみ対象。） ※簡易点検に上乗せして実施するもの ■冷凍冷蔵機器【7.5kW以上】・・・1年に1回以上 ■空調機器 【7.5kW以上～50kW未満】・・・3年に1回以上／【50kW以上】・・・1年に1回以上 | | | | | | 対象台数 | 定期点検 （今年度の実施有無） |
| | | | | | | 該当なし | 実施した |
| 算定漏えい量・充填量（冷媒の充填を行った場合は「充填量」及び「冷媒の種類」を入力。充填がない場合は「充填なし」と入力。）※3月に入力 | | | | | | | 充填なし |
| ※機器整備等で都道府県知事の登録を受けた充填回収業者より発行された「冷媒充填証明書」を基に点検記録された年間合計充填量 | | | | | | | |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 遵守 | 変更点 | | | | |

| | | | | |
|--|---|---------------------------|-----------------------------------|--------------------|
| 2 | | | | |
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動、設備等 | 規模、能力等 | |
| フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）第16条により規定される第一種特定製品の管理者の判断の基準となるべき事項 | <p>以下の事項を定めた国が定める「第一種特定製品の管理者の判断の基準」の遵守を通じて、使用時におけるフロン類の漏えい防止に取り組むことが必要。</p> <p>●管理する第一種特定製品の設置環境・使用環境の維持保全</p> <p>●簡易点検・定期点検</p> <p>●漏えいや故障等が確認された場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止</p> <p>●点検・整備の記録作成・保存</p> <p>2. 一定量以上フロン類を漏えいさせた者は、算定漏えい量等を国に報告することが求められる。また、国はその算定漏えい量等を公表する。（国への報告は環境政策課）</p> <p>3. 機器にフロン類を充填又は回収する必要がある場合、整備者は充填又は回収を「第一種フロン類充填回収業者」に委託しなければならない。第一種特定製品の管理者は、整備者に対して、整備発注時に管理者名を確実に伝達する必要がある。</p> <p>4. 機器の廃棄等を実施する者は、フロン類を「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡すか、フロン類の引き渡しを設備業者等に委託し「第一種フロン類充填回収業者」に引き渡す必要がある。また、その際、行程管理制度に従って、回収依頼書の交付等が必要。</p> | 冷凍冷蔵庫（業務用・第一種特定製品） | 1台 農村環境改善センター ホシザキ HF-180A3-ML | |
| 上半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | 下半期 ※簡易点検は3ヶ月に1回以上（全機種対象） | | |
| 4月～6月 点検実施日 | | 7月～9月 点検実施日 | | 10月～12月 点検実施日 |
| 令和6年5月22日 | | 令和6年8月1日 | | 令和6年11月8日 |
| ↓ 点検（整備）記録簿への記載を済ませたら○を選択 ↓ ※機器を廃棄した後3年間は紙又は電磁的記録によって保存する必要あり。 | | | | |
| 4月～6月 | ○ | 7月～9月 | ○ | 10月～12月 |
| 定期点検の実施（下記の機器を保有する所属のみ対象。） ※簡易点検に上乗せして実施するもの | | | | 対象台数 |
| ■冷凍冷蔵庫【7.5kW以上】・・・1年に1回以上 ■空調機器 【7.5kW以上～50kW未満】・・・3年に1回以上／【50kW以上】・・・1年に1回以上 | | | | 該当なし |
| 算定漏えい量・充填量（冷媒の充填を行った場合は「充填量」及び「冷媒の種類」を入力。充填がない場合は「充填なし」と入力。） ※3月に入力 | | | | 定期点検 （今年度の実施有無） |
| ※機器整備等で都道府県知事の登録を受けた充填回収業者より発行された「冷媒充填証明書」を基に点検記録された年間合計充填量 | | | | 実施した |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 遵守 | 変更点 | 充填なし |

Ⅲ 緊急事態対応訓練の実施

- ・該当所属のみ入力
- ・Suzuka-EMSに基づく訓練に関して入力してください（ネットフォルダ 12Suzuka-EMS内掲載の「緊急事態対応手順書」参照）。
- ・対象所属が、年度内に緊急事態対応訓練手順書を基に訓練を実施し、その実施内容を入力してください。
- ・訓練実施時の写真をデータで残して頂くをお願いします（プルダウンで選択回答）。

| | | |
|-------|------------|--|
| 実施予定日 | | |
| 実施人数 | | |
| 名 | 訓練内容 | |
| | 実施時の写真撮影有無 | |

Ⅳ 環境目標の実施状況及び目標に対する状況点検

- ・環境目標1～5は、「セルフチェックシート」（別シート）に各職員が評価や数値を入力すると、各目標の「環境目標○に対する所属の結果」が自動で表示されます。

| |
|--|
| 【環境目標 1】 |
| 節電のため、昼休みは業務に差し支えない範囲で消灯、未使用時の会議室や書庫の消灯、階段、廊下等の必要最小限点灯 |
| 【R6年度】 環境目標 1 に対する所属の結果 ↓ セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 2】 |
| 省エネ・節電のため、冷暖房の室内温度基準・運転期間・時間の遵守，経済運転の励行，長時間の離席時にパソコン・ディスプレイの電源を切る |
| 【R6年度】 環境目標2に対する所属の結果 ↓ セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 3】 |
| 森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため両面印刷やNアップ印刷を活用し印刷ミスを減らすためプレビュー確認を徹底する |
| 【R6年度】 環境目標3に対する所属の結果 ↓ セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 4】 |
| 4 R活動の励行，発生した廃棄物の分別の徹底 |
| ※4R = Reduce:ごみを減らす，Reuse:繰り返し使う，Recycle：再生利用する，Refuse：不要な物は、いりませんと断る |
| 【R6年度】 環境目標4に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 5】 |
| 自動車の経済運転・駐停車時のアイドリングストップの徹底，出張時の公共交通機関の利用，近隣移動時の徒歩・自転車の使用 |
| 【R6年度】 環境目標5に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| | | | |
|---|---------------------|-----|---|
| 【環境目標 6】 | | | |
| 森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため電子決裁を推進する | | | |
| 【基準値】 全決裁に占める電子決裁の割合（小数点第2位を四捨五入） 1%未満:「より一層の努力が必要」 1%以上24.9%未満:「もう少し努力できる」 24.9%以上:「徹底されている」 ※24.9%：令和5年度の電子決裁数（起案・供覧）を全決裁数（起案・供覧）で除した数値 = 市の電子決裁平均値 | | | |
| | 年間の電子決裁数を入力 → | 91 | 【R6年度】 環境目標6に対する所属の結果 24.5% もう少し努力できる |
| | 年間の電子決裁を含む全決裁数を入力 → | 371 | |

| | | | |
|---|---|----|---|
| 【環境目標 7】 | | | |
| 環境配慮物品の購入推進のためにグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）の割合を高める | | | |
| ※ 予算配当がない・物品を購入していない場合は「0」を入力してください。 | | | |
| ※ 対象とする購入は財務会計システムの単価契約物品です。 購入の個数に関係なく，1回の購入を1件とします。 （例：A社で法適合商品複数個と，適合でない商品複数個を購入⇒法適合商品購入1件と数える） | | | |
| 【基準値】 全物品購入件数に占めるグリーン購入の割合（小数点第2位を四捨五入） 空白:「物品購入が無い」 0.0%以上64.2%未満:「もう少し努力できる」 64.2%以上:「徹底されている」 ※64.2%：令和5年度のグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を全購入数で除した数値 = 市のグリーン購入の平均値 | | | |
| 単価契約物品一覧表の「エコ」「グリーン」「GPN」と入っている物品が一つでも入っている「支出負担行為（単契物品）」の枚数 | R6年度にグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を含む物品を購入した件数→ | 10 | 【R6年度】 環境目標7に対する所属の結果 43.5% もう少し努力できる |
| | R6年度に購入した件数→ | 23 | |

・該当所属のみ入力

| | | |
|-------------------------------------|---|--|
| 【環境目標 8】 | | |
| 環境負荷を低減するため公共工事設計時の「環境配慮チェック表」を作成する | | |
| R6年度作成枚数 → | 0 | 【R6年度】 環境目標8に対する所属の結果 ↓件数を入力すると自動でコメントが表示されます ↓ |
| 作成なし | | |

Ⅵ 外部に向けて発信できる各所属で独自に取り組む環境目標及び実施状況

・各所属の事務事業内容を考慮した環境目標を設定し，その実施状況や改善点を入力してください。

| |
|--------------------------------------|
| 【令和6年度】各所属で取り組む環境目標 |
| 「緑の募金」に協力し，「森づくり，人づくり」に対する市民の関心を高める。 |
| 【 ↓ 今年度の実施状況や次年度への改善点を必ず入力 ↓ 】 |
| 例年どおりの実績を得ており、次年度も継続して実施していきたい。 |

Ⅶ 鈴鹿市しあわせ環境基本計画に即した環境施策の推進状況

・該当所属のみ入力

| 【環境基本計画 1】 | | | | | | |
|-------------------------------|----------------------|--|---------|-------------------|--------------------------------|--------|
| 基本目標 | | | 基本方針 | | 施策 | |
| 自然と共生する社会の構築 | | | 自然環境の保全 | | 森林・海岸・水辺環境の保全 | |
| 実施施策 | 森林環境に配慮した計画的な間伐実施の補助 | | 実施施策詳細 | 庄内・上野環境林の下刈・間伐の実施 | 担当G | 農林振興G |
| 年間計画（P） （当初入力） | | 庄内・上野環境林の下刈・間伐→通年実施 | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | | 庄内・上野環境林の下刈・間伐→通年実施 | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | | 令和4年9月から令和7年3月まで実施 | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | | 下刈・間伐により、森林環境の改善に一定の効果があった。 | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | | ①目標の達成及び、実現のための施策を着実に前進させており、点検結果においても継続的な改善に努めている | | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | ①事業の継続 |

・該当所属のみ入力

| 【環境基本計画 2】 | | | | | | |
|-------------------------------|---------------|---|------------|--|----------|--------|
| 基本目標 | | | 基本方針 | | 施策 | |
| 自然と共生する社会の構築 | | | 自然環境の保全 | | 農地の保全・活用 | |
| 実施施策 | 地産地消運動取り組みの促進 | | 実施施策 詳細 | ①認定農業者の直売所等の設置経費の一部を補助 ②消費者団体等が取り組む地産地消事業に関する補助 | 担当G | 農政G |
| 年間計画（P） （当初入力） | | 認定農業者の直売所等の設置経費の一部を補助／消費者団体等が取り組む地産地消事業に関する補助→通年実施 | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | | 認定農業者の直売所等の設置経費の一部補助については、相談・計画はあったが、申請者都合により該当案件が無かった。消費者団体等が取り組む地産地消事業に関する補助については該当があった。 | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | | 消費者団体等が取り組む地産地消事業については、地元で生産された農産物を用いた小学校における体験授業の開催や、市民向け料理講習会の開催により、地産地消や食育の推進に一定の効果があった。 | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | | さらに多くの団体の地産地消への取り組み活動を推進していく。 | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | | ①目標の達成及び、実現のための施策を着実に前進させており、点検結果においても継続的な改善に努めている | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | | ①事業の継続 |

・該当所属のみ入力

| 【環境基本計画 3】 | | | | | | |
|-------------------------------|---------|--|------------|--------------------------------|----------|--------|
| 基本目標 | | | 基本方針 | | 施策 | |
| 自然と共生する社会の構築 | | | 自然環境の保全 | | 農地の保全・活用 | |
| 実施施策 | 農業景観の保全 | | 実施施策 詳細 | 営農組合設立支援 | 担当G | 農政G |
| 年間計画（P） （当初入力） | | 営農組合設立支援→通年実施 | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | | 既存の農事組合法人が一般社団法人化に向けた話し合いを実施 | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | | 組織の体系が変更後も農業景観の保全に繋がる。 | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | | 一般社団法人化後も引き続き、話し合いを行う。 | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | | ①目標の達成及び、実現のための施策を着実に前進させており、点検結果においても継続的な改善に努めている | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | | ①事業の継続 |

・該当所属のみ入力

| 【環境基本計画 4】 | | | | | |
|-------------------------------|---------------|--|------------|--|--------------|
| 基本目標 | | | 基本方針 | | 施策 |
| 自然と共生する社会の構築 | | | 自然環境の保全 | | 自然環境とのふれあい |
| 実施施策 | 体験農園等の参加機会の提供 | | 実施施策 詳細 | 農業経営の一環としてふれあい農園を開 設する農業者支援と農園への市民参加の 促進 | 担当G 農政G |
| 年間計画（P） （当初入力） | | 農業経営の一環としてふれあい農園を開設する農業者支援と農園への市民参加の促進→通年実施 | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | | ふれあい農園を開設については、2件増（総数22か所）。設置区画についても前年度から18区画増加となった。 | | | |
| 評価（C） （3月入力） | | ふれあい農園の開設支援により、市民参加の機会が増加した。 | | | |
| 改善（A） （3月入力） | | 鈴鹿市ホームページや広報すずかへの掲載により、さらに市民参加を呼びかける。 | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | | ①目標の達成及び、実現のための施策を着実に前進させており、点検結果においても継続的な改善に努めている | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | ①事業の継続 |

・該当所属のみ入力

| 【環境基本計画 5】 | | | | | |
|-------------------------------|--|---------|-----------------------------------|------------|--------|
| 基本目標 | | 基本方針 | | 施策 | |
| 自然と共生する社会の構築 | | 自然環境の保全 | | 自然環境とのふれあい | |
| 実施施策 | 海・山の環境問題に関する交流活動の支援（山での植樹活動支援） | 実施施策詳細 | 鈴鹿森林組合と鈴鹿市漁業組合の協同による環境問題への取り組みの支援 | 担当G | 水産・畜産G |
| 年間計画（P） （当初入力） | イベントを支援する。 | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | 令和5年春までの新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントが実施されなかった。 | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | イベントが実施されなかったため、評価できない。 | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | 新型コロナウイルス感染症やその他社会情勢を鑑みて、次年度以降の支援を検討していく。 | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | ①目標の達成及び、実現のための施策を着実に前進させており、点検結果においても継続的な改善に努めている | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | | ④事業の完了 |

Ⅷ 環境管理責任推進員による評価

・環境管理責任推進員による総合評価欄は、各項目の入力内容に応じ、自動で表示されます。

| 【R6年度】 | | | |
|------------------|---------|------------------|------------------------|
| 環境管理責任推進員による総合評価 | | | |
| 法の遵守状況（Ⅱ） | 非常訓練（Ⅲ） | 所属の目標設定及び実施結果（Ⅵ） | 環境基本計画に即した環境施策の推進結果（Ⅶ） |
| ①遵守 | 該当なし | ①実施済 | ○ |

・上記「法の遵守状況」や「非常訓練」が②の場合、来年度に向けた是正措置を入力してください。

Suzuka-EMS（鈴鹿市環境マネジメントシステム）
環境活動報告シート（令和6年度）

※原則、小数点第2位まで入力

| | | |
|------------|--------|-----------|
| 所属（課等） | | 耕地課 |
| 連絡先（内線・外線） | | 3642 |
| 環境管理責任推進員 | | **** |
| 環境管理推進員 | | **** |
| 提出日 | 当初提出日 | 令和6年7月26日 |
| | 下半期提出日 | 令和7年4月3日 |

凡例

- ：当初提出時に入力する箇所
- ：下半期提出時に入力する箇所
- ：必要に応じて適時入力する箇所

※該当のない項目には「該当なし」を入力または選択

I 職場研修の実施

- 指定管理者や業務委託事業者等を除く全職員 ※パソコンが一人1台ない所属は、回覧等で対応してください。

| | | |
|----|----|----------------------------|
| 実施 | 実施 | セルフチェックシートの所属結果が自動で表示されます。 |
|----|----|----------------------------|

II 施設及び設備等の点検

- 「法律」「条例」等に関する事業活動、施設及び設備等の点検状況を入力してください。
- 機器等の新規購入や廃棄を行った場合は、「変更点」に入力してください。

| | | | |
|---|--|----------|-----------|
| 1 | | | |
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動、設備等 | 規模、能力等 |
| 使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法） 第5条・8条 | 第5条 自動車の所有者は、自動車なるべく長期間使用することにより、自動車が使用済自動車となることを抑制するよう努めるとともに、自動車の購入に当たってその再資源化等の実施に配慮して製造された自動車を選択すること、自動車の修理に当たって使用済自動車の再資源化により得られた物又はこれを使用した物を使用すること等により、使用済自動車の再資源化等を促進するよう努めなければならない。 第8条 自動車の所有者は、当該自動車 が使用済自動車となったときは、引取業者に当該使用済自動車を引き渡さなければならない。 | 公用車 | 1台（N-VAN） |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 遵守 | 変更点 |

| | | | |
|---|--|-------------|--------|
| 2 | | | |
| 適用法令等 | 遵守事項 | 該当活動、設備等 | 規模、能力等 |
| 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第11条及び鈴鹿市公共工事環境配慮指針 | 地方公共団体は、第10条第一項の規定により届出を要する行為をしようとするときは、あらかじめ、市長にその旨を通知しなければならない（施行令第8条により読み替え） 【対象建設工事】（施行令第2条） ○床面積80㎡以上の建築物の解体 ○床面積500㎡以上の建築物の新築，増築 ○請負金額1億円以上の建築物の新築，増築，解体 ○請負金額500万円以上の建築物以外の工作物の解体，新築 ・「鈴鹿市公共工事環境配慮指針」 →土木工事（剪定，除草等管理業務委託を含む。）当初設計金額 5，000千円以上， 建築工事 当初設計金額20，000千円以上の物件は，「環境配慮チェックリスト」を設計書に添付すること。 | 一定規模以上の公共工事 | — |
| 年間総合実施状況（入力：3月） 選択リストから遵守・未遵守・評価事象なしのいずれかを選択 | | 遵守 | 変更点 |

III 緊急事態対応訓練の実施

- 該当所属のみ入力
- Suzuka-EMSに基づく訓練に関して入力してください（ネットフォルダ 12Suzuka-EMS内掲載の「緊急事態対応手順書」参照）。
- 対象所属が、年度内に緊急事態対応訓練手順書を基に訓練を実施し、その実施内容を入力してください。
- 訓練実施時の写真をデータで残して頂くをお願いします（プルダウンで選択回答）。

| | |
|-------|------------|
| 実施予定日 | |
| 実施人数 | 実施日 |
| 名 | 訓練内容 |
| | 実施時の写真撮影有無 |

該当なし

Ⅳ 環境目標の実施状況及び目標に対する状況点検

・環境目標1～5は、「セルフチェックシート」（別シート）に各職員が評価や数値を入力すると、各目標の「環境目標〇に対する所属の結果」が自動で表示されます。

| |
|--|
| 【環境目標 1】 |
| 節電のため、昼休みは業務に差し支えない範囲で消灯、未使用時の会議室や書庫の消灯、階段、廊下等の必要最小限点灯 |
| 【R6年度】 環境目標 1 に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 2】 |
| 省エネ・節電のため、冷暖房の室内温度基準・運転期間・時間の遵守、経済運転の励行、長時間の離席時にパソコン・ディスプレイの電源を切る |
| 【R6年度】 環境目標2に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 3】 |
| 森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため両面印刷やNアップ印刷を活用し印刷ミスを減らすためプレビュー確認を徹底する |
| 【R6年度】 環境目標3に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 4】 |
| 4 R 活動の励行、発生した廃棄物の分別の徹底 ※4R = Reduce:ごみを減らす, Reuse:繰り返し使う, Recycle：再生利用する, Refuse：不要な物は、いりませんと断る |
| 【R6年度】 環境目標4に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

| |
|---|
| 【環境目標 5】 |
| 自動車の経済運転・駐停車時のアイドリングストップの徹底、出張時の公共交通機関の利用、近隣移動時の徒歩・自転車の使用 |
| 【R6年度】 環境目標5に対する所属の結果 ↓セルフチェックシートの所属の結果が自動で表示されます ↓ |
| 徹底している |

【環境目標 6】

森林資源の枯渇を抑制（紙の削減）するため電子決裁を推進する

【基準値】 全決裁に占める電子決裁の割合（小数点第2位を四捨五入）
1%未満:「より一層の努力が必要」 1%以上24.9%未満:「もう少し努力できる」 24.9%以上:「徹底されている」
※24.9%：令和5年度の電子決裁数（起案・供覧）を全決裁数（起案・供覧）で除した数値 = 市の電子決裁平均値

| | | | |
|--|------------------------|-----|---|
| | 年間の電子決裁数を入力 → | 164 | 【R6年度】 環境目標6に対する所属の結果 19.4% もう少し努力できる |
| | 年間の電子決裁を含む全決裁数を入力 → | 844 | |

【環境目標 7】

環境配慮物品の購入推進のためにグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）の割合を高める

※ 予算配当がない・物品を購入していない場合は「0」を入力してください。

※ 対象とする購入は財務会計システムの単価契約物品です。
購入の個数に関係なく、1回の購入を1件とします。
（例：A社で法適合商品複数個と、適合でない商品複数個を購入⇒法適合商品購入1件と数える）
【基準値】 全物品購入件数に占めるグリーン購入の割合（小数点第2位を四捨五入）
空白:「物品購入が無い」 0.0%以上64.2%未満:「もう少し努力できる」 64.2%以上:「徹底されている」

※64.2%：令和5年度のグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を全購入数で除した数値 = 市のグリーン購入の平均値

| | | | |
|--|---|---|---|
| 単価契約物品一覧表の「エコ」「グリーン」「GPN」と入っている物品が一つでも入っている「支出負担行為（単契物品）」の枚数 | R6年度にグリーン購入（エコ・グリーン・GPN商品）を含む物品を購入した件数→ | 7 | 【R6年度】 環境目標 7 に対する所属の結果 77.8% 徹底されている |
| 「支出負担行為（単契物品）」の枚数 | R6年度に購入した件数→ | 9 | |

・該当所属のみ入力

| | | |
|-------------------------------------|---|--|
| 【環境目標 8】 | | |
| 環境負荷を低減するため公共工事設計時の「環境配慮チェック表」を作成する | | |
| R6年度 作成枚数 → | 2 | 【R6年度】環境目標8に対する所属の結果 ↓ 件数を入力すると自動でコメントが表示されます ↓ |
| 作成済み | | |

Ⅵ 外部に向けて発信できる各所属で独自に取り組む環境目標及び実施状況

・各所属の事務事業内容を考慮した環境目標を設定し、その実施状況や改善点を入力してください。

| | |
|------------------------------------|--|
| 【令和6年度】各所属で取り組む環境目標 | |
| ため池のパトロールを実施し、廃棄物の撤去を行うなど環境保全に努める。 | |
| 【↓ 今年度の実施状況や次年度への改善点を必ず入力 ↓】 | |
| 随時パトロールを行い対処した。次年度も同様に対処していく。 | |

Ⅶ 鈴鹿市しあわせ環境基本計画に即した環境施策の推進状況

・該当所属のみ入力

| | | | | | |
|-------------------------------|------|------------|--------------------------------|-----|--|
| 【環境基本計画 1】 | | | | | |
| 基本目標 | | 基本方針 | | 施策 | |
| | | | | | |
| 実施施策 | | 実施施策 詳細 | | 担当G | |
| 年間計画（P） （当初入力） | 該当なし | | | | |
| 実施結果（D） （3月入力） | | | | | |
| 評価（C） （3月入力） | | | | | |
| 改善（A） （3月入力） | | | | | |
| 環境管理責任推進員評価 （3月入力・リストから選択） | | | 次年度以降の事業の方向性 （3月入力・リストから選択） | | |

Ⅷ 環境管理責任推進員による評価

・環境管理責任推進員による総合評価欄は、各項目の入力内容に応じ、自動で表示されます。

| | | | |
|------------------|---------|------------------|------------------------|
| 【R6年度】 | | | |
| 環境管理責任推進員による総合評価 | | | |
| 法の遵守状況（Ⅱ） | 非常訓練（Ⅲ） | 所属の目標設定及び実施結果（Ⅵ） | 環境基本計画に即した環境施策の推進結果（Ⅶ） |
| ①遵守 | 該当なし | ①実施済 | 該当なし |

・上記「法の遵守状況」や「非常訓練」が②の場合、来年度に向けた是正措置を入力してください。

| |
|--|
| |
|--|